



こんがり焼けた子どもたちの顔に、このひと夏の成長を感じているこの頃。季節はだんだんと秋に近づいてきました。

九月は雨が多く、合間の秋晴れを待って、初めて園庭に出て遊びました。帽子をかぶり靴下を履き、身支度を「自分でやってみよう！」とする姿が増え、階段の上り下りもとてもし上手になりました。園庭に出ると、わくわくした表情で「どこへ行こうかな？」とキョロキョロしながら、思い思いに遊びを楽しむ子どもたちです。

また、年上児と手を繋いで散歩や一緒に遊んだり、異年齢クラスの子どもたちとの関りも楽しんでいます。お兄さんやお姉さんの姿を見て、真似をしながら初めての経験を楽しんでいる子どもたちです。

園庭で自然に触れ、花や虫などを観察したり砂場や滑り台など様々な遊具を楽しんだりしながら、身体を十分に動かして、心も身体も元気に育ってほしいと願っています。



砂に触れて育まれること



園庭に出ると興味津々になって砂場へ向かっていく子どもたち。子どもたちにとって砂遊びは魅力に溢れているのでしょうね。砂遊びで育まれることをご紹介します！

①集中力

バケツいっぱい砂を入れることで集中力を育みます。

②達成感

バケツや型いっぱい砂が入ることで達成感を持つことができます。砂の重量感を身体全体で感じるができます。

③手首や腕全体の動き

手首や腕全体を動かすことで、スコップで砂をすくうことや平らにすることができます。

④創造力

見立て遊びが得意な子どもたちは砂がいろいろなものに変身しアイスクリームやケーキなどイメージを膨らませて遊びます。

砂遊びを通して身体の発達を促しながら楽しんでいきたいと思ひます。



話の中でおつきさまが悲しそうな顔を見ると「おつきさま、えんえんしたね」と言ったり「こんばんは」とみんなでお辞儀しながら繰り返し喜んで見えています。

1組



もも組では、絵本を「大人と一緒に楽しい時間を共有し、愛着関係を深めるもの」と考えています。絵本を通して保育者と一緒に「楽しいね」「面白いね」と気持ちを共有することで、子どもたちにとって絵本が大好きなものになってほしいと思っています。

また、絵本は子どもたちがこれから長く親しんでいく大切なものです。そのため、「絵本は大切に扱うもの」ということも伝えていきたいと考えています。もも組では子どもたちが「読んでほしい！」と思った絵本を指差しで保育者に知らせ、保育者と一緒に落ち着いた雰囲気の中で絵本を楽しむよううにしています。

今回は、そんな子どもたちがもも組の部屋で楽しんでいる、大好きな絵本を紹介します♪

絵本大好き！

2組

おにぎり



おにぎりを握った時の「ぎゅっぎゅ」や回す時の「くるくる」を真似して言ったり海苔を巻いて出来上がって「できあがりー！」と保育者が読むのと同時に「あがりー！」とみんな言ってくれます。

